

## 6月定例会号

市議会だよりは2月、5月、8月、11月の第2土曜日（定例会号）、1月1日（新年号）に発行します。  
次回は9月定例会が開催予定です。



# いちかわ

# 市議会だより

2023年(令和5年)第260号

8月12日(土)

発行 市川市議会  
編集 議会運営委員会  
市川市八幡 1-1-1 ☎ 334-1111  
<https://www.city.ichikawa.lg.jp/cou01/1541000002.html>

## 6月定例会

# 第2子以降の保育料無償化が決まる

## 副市長の選任に同意、2人体制に

市議会は、令和5年6月定例会を6月9日から6月26日まで開催しました。6月定例会

では、市長から、「市川市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について」、「市川市消防条例の一部改正について」、「市川

市税条例の一部改正について」、「市川市火災予防条例の一部改正について」、「令和5年度

市川市一般会計補正予算（第2号）」、「（仮）市川市八幡市民複合施設新築工事請負契約に

ついて」などの議案21件と諮問2件、報告9件が提出され、これらを一括議題として8会派が代表質問を行いました。

議員からは、「市川市議会会議規則の一部改正について」、「特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める意見書の提出について」の議案2件が提出されました。その他、24人の議員による一般質問を行いました。

本会議での採決の結果、市議会は、市長提出議案の21件をいずれも原案通り可決・同意した他、諮問2件を異議ない旨答申しました。また、市長からは、「副市長の選任について」の追加議案1件も提出され、提案に対する質疑の後、市議会は原案通り同意しました。

議員提出議案については、規則改正案1件、意見書案1件をそれぞれ可決しました。（代表質問は254面、一般質問は577面、審議結果一覧は8面に掲載）

令和5年10月1日から第2子以降の保育料無償化が始まる

### 議員の表彰

#### 全国市議会議長会

|         |                                                                     |
|---------|---------------------------------------------------------------------|
| 在職40年表彰 | かいづ 勉（前議員）                                                          |
| 在職35年表彰 | 岩井 清郎                                                               |
| 在職20年表彰 | 中山 幸紀 加藤 武央<br>稲葉 健二 松永 鉄兵<br>松井 努（前議員）<br>松永 修巳（前議員）<br>荒木 詩郎（前議員） |
| 在職10年表彰 | 小泉 文人                                                               |

※令和5年5月1日まで市議会議員の身分を有していた方は（前議員）と表記しています。

### ◆主な議案

#### ○市川市税条例の一部改正について

地方税法等の改正に伴い、個人の市民税と併せて新たに賦課徴収を行う森林環境税に関する規定を定めるとともに、特定小型原動機付自転車に係る軽自動車税の課税区分を見直すほか、所要の改正を行うものです。

#### ○令和5年度市川市一般会計補正予算（第2号）

一般会計補正予算案は、歳出において、低所得世帯に対する重点支援給付金をはじめ、保育総合システム改修委託料、自転車乗車用ヘルメット購入費補助金など、歳入において、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、子どもの成長応援臨時給付金給付事業費補助金など、それぞれ28億9552万1千円を追加し、歳入歳出の総額を1701億5834万1千円とするものです。

#### 【主な質疑】

「繰越金について、令和4年度決算における見込み額のうち、約4億6500万円を計上していることだが、補正予算の財源となる繰越金の合計はどの程度になると見込んでいるのか」との質疑に対し、「令和4年度決算の繰越金は、現在、計数整理中であるため、あくまで見込み額になるが、例年、15億円前後を補正予算の財源として活用しており、今年度においても、合計で15億円程度になるものと見込んでいる」との答弁がなされました。また、「成人式を午前と午後の2部制にする」とのことが、参加者が混乱しないように何か対策は考えているのか」との質疑に対し、「対象者の住所を中学校通学区域別に南北に分け、おおむねJR総武線より北側を午前部とし、大洲中学校区を除くJR総武線より南側を午後部とした上で、対象者の都合により、どちらにでも参加できるよう通知を行う予定である」との答弁がなされました。

#### ○（仮）市川市八幡市民複合施設新築工事請負契約について

既定予算に基づく（仮）市川市八幡市民複合施設新築工事について、一般競争入札の結果、落札者との間に工事請負契約を締結するため、議会の議決を求めるものです。

### ◆報告

6月定例会では、継続費の通次繰越し、繰越明許費の繰越し、下水道事業会計予算の継続費の通次繰越し、下水道事業会計予算の繰越し、下水道事業会計予算の事故繰越しの他、市川市土地開発公社、公益財団法人市川市清掃公社及び公益財団法人市川市文化振興財団の令和4年度決算及び令和5年度事業計画、専決処分報告1件の合わせて9件の報告がなされました。



市川市議会では、年4回の各定例会で、交渉会派（所属議員3人以上の会派）の代表が市長提出議案等その他市政全般について問う代表質問を行います。6・9・12月定例会における各会派の発言時間は、原則3日間の総会議時間を、質問通告のあった会派の所属人数に応じて割り振って決定します。質問は総括質問者が行う他、補足質問者を立てることができます。ここでは、会派が指定した項目の主な内容を掲載しました。※6月定例会の代表質問は6月5日に通告を締め切り、6月9日から3日間の日程で行いました。

# 代表質問

公明党



西村 敦

小山田なおと

川畑いつこ

浅野 さち

久保川隆志

中村よしお

宮本 均

大場 諭

## 江戸川河川敷の安全対策

**問** 令和5年3月に発生した江戸川河川敷における子どもの水難事故を受け、安全対策を講じるよう市に要望したところ、現場の確認を行い、老朽化している看板を子どもにも分かるようなイラストを使用したデザインの看板に交換するなど対策を既に実施している

**答** 江戸川河川敷における今後の安全対策については、江戸川を管理している国土交通省と協議を進めているところである。市民が安心、安全に利用できる環境を確保するため、河川の治水対策を考慮した上で、低木の植栽などの安全対策の実施に向けて検討していく。



安全対策が進む江戸川河川敷

## 带状疱疹のワクチン接種

**問** 带状疱疹の予防にはワクチン接種が有効であるが、費用が高額であることから接種費用の助成を望む声が増えていると聞く。現在、費用助成を行っている近隣自治体もあるとのことだが、本市ではこのことについてどのように考えているのか。また、市公式ウェブサイト

**答** 带状疱疹のワクチン接種の費用助成については、国や県の動向及び近隣市の状況等を踏まえながら検討しており、令和5年4月には、県に対し市町村への費用助成を創設するよう要望したところである。また、带状疱疹ワクチンの情報等については、市公式ウェブサイトやSNSなども活用して速やかに周知していく。

## ヘルメット購入費助成

**問** 自転車乗車中の事故での致死率を低下させるためにはヘルメット着用が効果的であり、令和5年4月に自転車乗車中のヘルメット着用が努力義務化されたところだが、今回の補正予算で計上されているヘルメット購入費の一部補助について、その内容を問う。また、本補助制度に期待される効果及び今後の取り組みをどのように考えているのか。

**答** ヘルメット着用率の向上を早期に図るために、1人当たり2千円のヘルメット購入費補助を行うこととし、受付枠を2万5千件設けた。本補助制度の実施によりヘルメット利用者が増え、着用することが習慣化することで安全意識の醸成につながり、重大な事故の減少に寄与すると考える。今後はヘルメット着用の重要性についての周知を進め、6年度以降の継続については、今回の申請状況や他の自治体の制度を参考にしながら慎重に見極めていく。

## 第2子以降の保育料無償化

**問** 本市においては子ども数の減少や子育て世代の転出超過が続いており、子育てしやすい環境を整備するための施策が必要であることから、国の制度における無償化の対象外である0歳から2歳の子どもを対象とした第2子以降の保育料無償化を令和5年10月より実施することである。そこで、本制度の概要と実施により期待される効果について、市の見解を問う。

**答** 本制度は、第1子の年齢にかかわらず同一世帯内における認可保育施設などに通う第2子以降の保育料を、所得制限を設けず無償化するものである。また、認可外保育施設にも適用され、現在第3子以降に上乗せしている補助金額について、第1子の年齢を問わず第2子以降に上乗せするよう拡大した。本制度の実施により、子育て世帯の経済的負担の軽減が図られ、出生率の向上及び子育て世代の定住促進等が期待できる。

創生市川



小泉 文人

ほただゆうな

国松ひろき

大久保たかし

石原たかゆき

稲葉 健二

加藤 武央

岩井 清郎

## 公共施設マネジメント

**問** 本市の計画では、令和12年度末には公共施設全体の延べ床面積を2万6千㎡削減することを新たな目標としているとのことであり、今の時代背景に合致していると思う。そもそも公共施設マネジメントの目的は、人口減を見据えた施設の適正配置と将来負担の軽減にあると思うが、将来負担の軽減については、市はどのように考えているのか。

**答** 将来負担の軽減については、整備にかかるイニシャルコストと維持管理にかかるランニングコストの双方を、トータルで捉えるべきと考えている。このことから、施設の統廃合や複合化、公民連携などによる実質的な経費の削減手法などの調査・研究を進め、市民サービスの質と施設運営の効率化の両立を図っていく。

## デジタル地域通貨

**問** 本市では、健康づくりの取り組みに対し、インセンティブとして行政ポイント

## シルバークロスの導入

**問** 仙台市などで既に実施されている、いわゆる「シルバーパス」の導入については、平成24年9月定例会で初めて質問をしてから約

## 用途地域の見直し

**問** 本市では、用途地域の

10年が経っている。今の時代背景と今後の高齢者の外出支援などを考えると、そろそろ機運が高まってきているのではないかと感じている。同施策の導入に向けた進捗状況はどうなっているのか。

**答** 同施策の導入については、コロナ禍により減少した外出機会の回復・増進という目的からも、大変有効な手段と考えている。これまで高齢者に対する外出、移動支援の観点から、他市の状況や市内公共交通事業者の実施する、高齢者に対する優待制度など、情報収集をしながら研究を重ねてきた。現在、福祉部において公共交通事業者や関係部署と協議を重ねており、市として実施に向けた具体的な手法の検討を進めている。

**問** 部分的な見直しは行われているものの、全体的な見直しは50年間行われておらず、用途地域が実態と乖離している地域がある。一部では全く全体的な見直しが必要であると考えるが、今後、都市計画マスタープランを改定する際に、用途地域を見直す旨を明記できないか。

**答** 都市が社会状況により変化するものである以上、目指すべき将来都市像を実現するために、都市計画を適時適切に見直す必要がある。また、その実現には長期間を要するため、計画には一定の継続性等も要請され、状況の変化や今後の見直しも勘案する必要がある。このため、同プランの改定に当たっては、用途地域が実態と乖離している地域を含め、目指すべき将来都市像を市民と共有し、それに応じた用途地域の変更が適時行えるよう、まちづくりの方針を示していく。



デジタル地域通貨「ICHICO」の周知をしている様子



# 代表質問

6月定例会では、8つの会派が代表質問を行いました。代表質問を行った会派の名称、発言順及び発言時間は次のとおりです。

公明党（166分）、創生市川（166分）、市民クラブ（98分）、日本共産党（98分）、市川維新の会（81分）、清風いちかわ（98分）、自由民主の会（81分）、チームいちかわ（81分）

※2次元コードから代表質問の動画をYouTubeにてご覧いただけます。

## マイナ保険証

**問** マイナンバーカードを健康保険証として利用するいわゆるマイナ保険証について、本市の国民健康保険加入者のうちマイナ保険証の利用登録を行っている人数、マイナ保険証を利用できる市内の医療機関等の状況を問う。また、マイナ保険証を利用した場合と利用

しない場合の自己負担額にどのような違いがあるのか。  
**答** 本市の国民健康保険加入者約8万5千人のうち、マイナ保険証の利用登録者は、令和5年4月末現在で約3万3千人である。また、マイナ保険証を利用できる市内の医療機関等は、同年5月末現在で病院10カ所、診療所185カ所、歯科医院138カ所、薬局163カ所の計496カ所である。国は、同年4月から12月ま

での間の特例措置として、自己負担3割の者が医療機関を受診する際、マイナ保

険証を利用した場合は初診料に6円、調剤費に3円を加算しており、既存の保険



補聴器の適正利用を啓発するチラシ

## 補聴器購入補助制度

**問** 難聴に対しては早い段階から補聴器を使うことで生活の質を良くすると言われているが、高額なため購入をためらう人もいる。全国の自治体において補聴器購入補助制度が広がっているが、本市における制度創

設に関する考えを問う。  
**答** 令和4年度は、市川市耳鼻科医会の助言を受けながら、医療機関の受診勧奨や補聴器の適正利用を啓発するチラシを作成し、市内の高齢者サポートセンターなどで配布を行った。本市における制度創設については、現在、国が実施をしている難聴補正による認知機

能への影響に関する研究の結果を注視しつつ、他の自治体の状況なども鑑みながら検討を進めていく。

## 柏井町1丁目 社宅団地跡地

**問** 柏井町1丁目の社宅団

地跡地は現在更地となっているが、当該地における開発計画は現在のところ確認できておらず、また、市が買い取る予定もないとのことである。本市の北部地域には生涯学習の場としての図書館施設がなく、図書館サービスの地域差があることから、当該地を将来の図書館施設の候補地の一つとして検討する価値があると考え、市の見解を問う。  
**答** 当該地に図書館を建設する計画はないが、北部地域に図書館がないことにより、サービス面で課題があることは認識している。そのため、代替サービスとして大野公民館や西部公民館にある図書室の機能を拡充しており、令和5年6月より両公民館の入口付近に新たに返却ポストを設置し利便性の向上を図った。今後ともサービスの拡充を着実に進め、全ての人が図書館をより便利に利用できるように努めたいと考えている。

## 日本共産党

〔総括質問者〕  
清水みな子  
とくたけ純平  
やなぎ美智子  
廣田 徳子



## 市立学校の防災備蓄

**問** 飲料水や食糧など、市立学校における児童や生徒のための防災備蓄については、本来、どの学校であっても同じ内容で提供されるべきと考える。災害時に学校が地域の避難場所となった時には、児童や生徒の

ための備蓄品が避難している地域住民に対して提供されることも想定されることから、市の予算で防災備蓄を進めるべきと考えるが、市立学校における防災備蓄の現状と課題、今後の取り組みについて見解を問う。  
**答** 児童や生徒が在校時に災害に遭い、学校に留め置かれなければならない事態に備え、市立学校では基本



市立学校に備蓄されている飲料水や食糧

## チームいちかわ

〔総括質問者〕  
丸金ゆきこ  
富家 薫  
野口じゅん



的に飲料水や食糧の備蓄を、また、学校によってはそれ以外に防寒用シートやマスクなどの備蓄も行っている。備蓄品は入学時に購入し、卒業時に配布・返却しており、その費用は、学校徴収金に含めて各家庭から徴収する場合とPTA会費から徴収する場合が主である。令和5年5月現在、市立学校全体のうち約98%で備蓄が整っている状況であり、未整備の学校についても現在、備蓄確保に向けて調整している。適切な場所での保管や児童生徒への配布方法など、災害時に的確かつ迅速に対応するための準備が課題であると認識しており、今後も各学校における防災備蓄の状況を把握し、災害時に的確かつ迅速に対応できるよう努めていく。

## 市民クラブ

〔総括質問者〕  
中町 けい  
にしむた勲  
つちや正順  
石崎ひでゆき



## 高齢者の移動支援

**問** 光熱費や物価などが高騰する中、自動車や自転車に乗らない高齢者は、通院時のバス代やタクシー代などの経済的負担が大きいと聞く。令和4年12月定例会で、高齢者の移動支援について質問したが、その後の進捗状況について問う。

**答** 令和4年12月に市内在



タクシー代などは高齢者にとって経済的負担となっている



# 代表質問



市川大野駅から高塚入口交差点までのバス通り

**問** 市川大野駅から高塚入口交差点までのバス通りは、交通量が多い上に駅に向かう人や学校に通う児童が多くいるにもかかわらず、歩道が狭く片側にしかない箇所や歩道がない箇所がある。

## 市川大野駅前道路

**答** このため、地元自治会から本道路への歩道の設置を含めた拡幅整備の要望があり、市は令和4年度より拡幅整備のための準備を始めたが、現在の進捗状況及び今後の整備計画について問う。

**問** 国府台公園野球場は、令和5年4月に建て替え工事が完了し、オープンする予定であったが、本工事に伴う国府台遺跡の埋蔵文化財発掘調査が延長され、本工事計画も同時に遅延している。

## 国府台公園野球場

**答** 野球場は現在、7年3月21日までに建て替え工事を完了するものとしている。そのため、野球場における文化財発掘調査後は、速やかに野球場の工事が再開できるような協議を進めているところである。春の開戦に間に合わせるのほもちろん、新野球場で開会式を行いたいとの声にこたえるために、少しでも早く工事が完了できるように調整していく。

## 傍聴のご案内

本会議と委員会は、原則として公開されており、自由に傍聴できます。

●本会議の傍聴（94席）  
会議当日に市役所第1庁舎7階の受付へ直接お越しください。住所・氏名を記入するだけで入場できます。

●委員会の傍聴（各7席）  
第1庁舎6階の議会事務局で受け付けした後、委員会室へご案内します。

※傍聴時は、受付の際にお渡しする注意事項をお守りください。

## 清風いちかわ



〔総括質問者〕  
竹内 清海 青山ひろかず  
石原みさ子 松永 鉄兵

4mの歩道設置などを行い、全体幅員を18mとするものである。現在は基礎調査を完了し、設計を進めており、5年度中には事業化に向けて地元説明会を開催し、本計画について地元の合意形成を図る予定である。工事の実施期間は、8年度から13年度末を見込んでいる。

**答** 野球場は現在、7年3月21日までに建て替え工事を完了するものとしている。そのため、野球場における文化財発掘調査後は、速やかに野球場の工事が再開できるような協議を進めているところである。春の開戦に間に合わせるのほもちろん、新野球場で開会式を行いたいとの声にこたえるために、少しでも早く工事が完了できるように調整していく。

**問** 乗降客が多い駅周辺において、さわやかハウスの整備を進めていくべきであるが、市川駅と本八幡駅については、駅前十分なスペースがないため、設置できない状況である。市川駅と本八幡駅には、その周辺の民間施設にトイレが設置されていることから、今後は民間施設のトイレの活用について、他市の事例を参考に検討をしていく。

**問** 東京消防庁では、令和2年9月から119番通報を受けた際に通報者のスマートフォンを使って救急現場などの映像を災害救急情報センターに送信できる「映像通報システム」を導入している。本システムでは、通報を受けた職員が映像を見ながら応急手当ての方法を指導できるなど、人命救助や初動体制の確保の観点から導入の利点は非常に大きいと考える。現在、本システムを導入している消防本部は全国にどれくらいあり、年間で何件の活用実績があるのか。また、本市も本システムを導入すべきと考えるが、見解を問う。

**答** 4年11月現在、本システムを導入しているのは、全国723の消防本部のうち、試行運用を含めて92の消防本部であり、そのうち本市と同規模の消防本部では、4年度中に12件の活用実績があったとのことである。また、本市における本システムの導入については、迅速かつ効果的な消防活動の充実を図るものであ

「ちは北西部消防指令センター」の構成10市における協議が必要であることから、構成市による協議会において、他の消防本部の導入実績、課題及び有効性などを検証し、導入に向け、調査・検討をしていきたい。

置されているトイレのほか、道路などに「さわやかハウス」と呼ばれる公衆トイレが設置されている。さわやかハウスについては、地震などの大規模災害発生時における帰宅困難者への対応という観点からも非常に重要な設備であり、特に人が多く集まる駅周辺において必要とされている。しかしながら、現状では、行徳駅や南行徳駅の周辺には設置されているが、市川駅や本八幡駅の周辺には設置されていない状況である。市は、



映像通報システムのイメージ

## さわやかハウス

**問** 市内には、公園内に設

〔総括質問者〕  
堀内しんご  
〔補足質問者〕  
つかこしたかのり

## 市川維新の会



沢田あきひと



南行徳駅前に設置されている「さわやかハウス」



塩浜三番瀬公園の階段式護岸



# 一般質問

6月定例会では、24人の議員が一般質問を行いました。  
質問の持ち時間は答弁を含めて1人60分です。  
ここでは紙面の都合上、1人1項目を選び質問・答弁を要約し、分野ごとにまとめて掲載しました。

※2次元コードから一般質問の動画をYouTubeにてご覧いただけます。  
※6月定例会の一般質問は6月7日に通告を締め切り、6月19日から6日間の日程で行いました。

## 平 和

これからの平和行政

**時代にあった取り組みをすべき  
一歩進めた具体的な対応を検討する**

中村よしお議員（公明党）  
大変な逆風の中ではあるが、本市は「核なき世界」を目指し、これから更に粘り強く行動すべきであり、

また、これからの時代に合った平和行政に取り組んでいくべきであると考えている。そこで、本市の平和行政について市長の考えを問う。

答 本市の核に対する、そ

## 街づくり

塩浜三番瀬公園

**干潟化に向けた市の取り組みは  
県への働きかけを継続していく**

富家薫議員（チームいちかわ）  
塩浜2丁目護岸はきれいに整備されており、塩浜三番瀬公園の海側は、一部の区間が水際近くまで降りる

こののできる階段式護岸となっている。市民が安心して海に親しめるよう、本護岸前面を干潟化すべきと考えるが、市の見解を問う。

答 本市は以前より県に対して、階段式護岸前面に海に親しめる場として干潟化の要望を行ってきたが、三番瀬全体の再生が限定的であることから困難とされてきた。しかし、市民が海と直接触れ合える水辺の実現は大変重要であるため、今後も県に対する働きかけを継続しながら、市としても調査・研究をしていく。

## 行 政

宮田小学校の建て替え

**地域住民の納得を得られる対応を  
個別に適宜対応していく**

越川雅史議員（無所属の会）  
宮田小学校の建て替えについては、令和8年度以降民対応などに影響を及ぼすまで、少なくとも3年間先延ばしにする計画案が突如

示された。この先送りの判断は同校の建物に限った話ではなく、災害発生時の住民対応などに影響を及ぼすばかりか、他の学校にも波及し、大変重大な問題に発展するリスクがあると危惧している。本件は地域住民への説明と意見聴取を通じ納得を得られるよう対応すべきだが、市の考えを問う。

答 公共施設の建て替えについては、地域住民の理解を得ることが前提であり、その意見には丁寧に対応する必要があることから、個別に適宜対応していく。

市民サービスの向上

**行徳支所にもフリースペース設置を  
関係部署と連携し検討していく**

西村敦議員（公明党）  
第1庁舎は、建て替えにより、市民が勉強や軽食などで気軽に利用できるフリースペースが複数設置され、市の見解を問う。

行徳支所は、公民館や図書館との複合施設として、行徳地域の多くの住民から親しまれ、利用される施設であるため、機能拡充に関する期待も大きいものと認識している。今後、フリースペースの整備を含めた更なる市民サービスの向上について、関係部署と連携をとりながら検討していく。

## 防 災

パティオビル

**耐震対策 市はどのように  
指導、助言、必要な支援を行う**

石原よしのり議員（市民の力）  
本八幡駅北口にあるパティオビルは、市内で唯一、震度6強の地震で倒壊の危険性が高いと判断された耐

震強度の低いビルである。ここには毎日多数の市民が入り出しており、その命を守るために一刻も早く耐震対策を実施すべきと考えるが、この課題に対し、市は

市民団体との連携

**災害協定を締結できるのか  
どのような連携ができるか検討する**

にしむた勲議員（市民クラブ）  
災害時に役立つ専門知識を持ち、日頃から訓練しているガールスカウトの団体から、市の災害時の活動に

協力したいとの申し出があり協議を進めているが、このような市民団体と災害協定を締結することは可能か。

答 本市の災害時の支援協定は事業者や業界団体と締結する場合が多く、日頃の事業活動が災害時の支援につながる場合に締結している。ガールスカウトの活動はボランティア活動に近いと捉えており、協定の締結には馴染まないと考えているが、活動そのものは防災や減災に向け大きな力になるため、どのような連携ができるのか検討していく。

南部地区の消防行政

**これまでどのように対応してきたか  
南消防署での救急隊増隊などを実施**

石崎ひでゆき議員（市民クラブ）  
本市南部地区の消防行政について、火災件数は減少傾向にあるが、救急需要の増加や、老朽化した消防庁

舎の建て替えなどの課題があるとのことである。増加する救急需要に対するこれまでの対応と今後の展望について、市の見解を問う。

答 これまでの対応としては、救急需要の増加が予測されるため、引き続き、いち早く救急車を向けられるように努めるとともに、隊員の負担軽減を図れるよう救急体制の整備に努めていく。

江戸川河川敷の安全対策

**国と市が連携して実施できないか  
関係者間で協議し調整していく**

国松ひろき議員（創生市川）  
江戸川における水難事故への対策として、進入防止柵の代わりとなるツツジの植栽やAEDの設置のほか、有効であるが、国と本市が

等間隔にライフジャケットを設置することなどが効果的であると考えている。現在実地している視界確保のため柵の草刈りも安全対策として、今後、各関係者間で協議し、調整していく。



こども・教育

若者議会

先進市を参考に導入できないか  
調査研究していきたいと考えている



本市では若者世代の流動性が高いとのことだが、若者が自ら考え、提案した施策によって、暮らしやすいまちになれば若者の定住につながると思う。他市では若者がその能力を発揮し、魅力あるまちづくりを進めるため、「若者議会」が設置されており、このような先進市を参考に本市でも同議会を導入できないか。

答 未来志向で魅力と活力のある自治体を継承していくために、次世代を担う当事者である若者の意見をまちづくりに生かしていくことは重要な視点の一つであると認識している。引き続き、先進事例を調査研究していきたいと考えている。

特別支援学級

今後の設置計画は  
速やかに設置を進めていく



近年、特別支援学級での教育を希望する児童生徒は増加傾向にあると聞く。どの学校にも特別支援学級が設置されていることが理想であると考えるが、今後の設置計画について問う。

答 特別支援学級の設置は、毎年計画的に進めており、令和5年度は、小中学校及び義務教育学校54校中37校に設置している状況である。4年度から特別支援学級の設置に関する調査を実施し、学校や保護者のニーズを確認する中で、その必要性を改めて認識している。今後は、該当する児童生徒の障がいの種類や地域のバランスなどを十分考慮し、速やかに設置を進めていく。

廣田徳子議員(日本共産党)

小山田なおと議員(公明党)

福祉

高齢者見守り支援事業

移行した場合の影響と対応は  
負担軽減を図り円滑に進めていく



浅野さち議員(公明党)

今後廃止予定のあんしん電話事業から高齢者見守り支援事業へ移行した場合、利用者にはどのような影響

答 利用者への影響について、市はどうか対応するのか。また、訪問販売などで不安を感じた場合の相談通報にも対応できると望ましいが、市の見解を問う。

が、自己負担額が多くなることが挙げられる。そのため、負担が大きくなり過ぎないよう、利用料金の改定を令和6年1月からの予定とし、負担軽減を図りながら円滑に進めていきたい。また、本事業は防犯などの相談を含むものではないが、相談内容を受け止め、適切に支援機関を案内していく。

特別支援学級等

通級指導教室を含め開室目標は  
毎年1校から3校程度順次新設



川畑いつこ議員(公明党)

学習や行動に困難のある子どもたちは程度に応じて特別支援学級や通級指導教室で学習している。該当する子どもが年々増える中、現在の開室数では少ないと感じる。当該学級等の設置計画と現状の課題を問う。

答 当該学級等の設置については、学校、保護者の二

ーすに対応し、毎年1校から3校程度を順次新設している。児童生徒への切れ目のない支援を提供することが課題であると考えており、教職員間の引き継ぎを丁寧に行うよう指導することともに、児童生徒の実態や保護者、学校のニーズ等を受け止めた上で適任者を配置する人事を行うことに努める。

放課後保育クラブ

長期休暇中 宅配弁当を導入すべき  
負担が少ない仕組みを調査する



大場諭議員(公明党)

放課後保育クラブを利用する保護者へのアンケートにおいて、学校の長期休暇中に宅配弁当の利用を希望

答 市内の同クラブのうち

約3割のクラスで保護者会や保護者の有志が宅配弁当を利用している。支援員は弁当の受け取りや片付けの協力をしているが、頼み忘れるなどのトラブルの対応が負担となっている。今後は、保護者及び支援員の意見を聴きながら、双方にとって負担の少ない仕組みと利用方法を調査・研究していく。

登校渋り

当該児童や保護者へのサポートは  
早期発見、早期対応に努めている



ほとんどの議員(創生市川)

全く学校に行かないわけではないが、登校を嫌がり遅刻や早退することがあるなどの、いわゆる登校渋りに悩んでいる家庭が多いと聞く。登校渋りは不登校や登校拒否につながりやすく、この時点でケアが非常に重要と考えているが、当該児童生徒や保護者に対するサポートは、早期発見、早期対応に努めている。

する本市のサポートを問う。

答 早期発見、早期対応を重視し、当該児童生徒の状況に合わせて、学校内の教職員やライフカウンセラーなどにつないで対応していると聞く。また、保護者に対しては教育センターの教育相談窓口において子育てに関する悩みや登校渋りの相談を受ける体制を整えている。

緑地

若宮第1緑地

管理に計画性がない 市の認識は  
樹木の剪定 定期的な実施を検討する



やなぎ美智子議員(日本共産党)

若宮第1緑地におけるごみの不法投棄への市の対応や樹木の剪定作業などについて、近隣住民より、計画

性がないなど不満の声が寄せられている。住民が市に連絡をすれば対応してもらえるが、それだけでは動いてもらえないとのことである。そこで、本緑地の管理

フードバンク活動

活動を担う団体の支援をするべき  
関係団体との連携体制を構築する



野口じゅん議員(チームいちかわ)

本市はフードドライブ事業を開始しており、フードバンク活動を担う団体を通して生活困窮者や子ども食

堂、福祉施設などに集めた食料を配給しているとのことである。今後、生活困窮者を支援する上で同団体への支援が更に重要になると考えるが、市の見解を問う。

買い物弱者への支援

乗り合いタクシー導入の検討は  
要望があれば地域と意見交換を行う



門田直人議員(れいわ新選組)

市北西部ではコミュニティバスの運行中止から移動手段がなく、高齢者に大きな負担がかかっている。埼

玉県羽生市などの事例を基に本市でも乗り合いタクシーが運行されると、買い物弱者への交通手段が確保されると思われるが、本市でも導入を検討できないか。

通学路の安全対策

対策が必要な箇所への対応は  
情報を共有し安全確保に取り組む



青山ひろかず議員(清風いちかわ)

令和3年7月に通学路緊急一斉点検を実施し、明らかとなった危険箇所は184カ所あったが、5年6月

には183カ所の対策が終了し、残りの1カ所も5年度に対策を行う予定とのことである。本点検で判明した箇所以外にも危険箇所は、児童の安全確保に取り組む。

後の対応について問う。

市民生活

道路交通



保 健

コロナワクチン接種

**副反応に対する市の認識は健康被害を生じた市民に寄り添う**

太田丈之議員(参政党)

コロナワクチン接種後の副反応による健康被害の状況は痛ましく、本ワクチンの効果に個人的には疑問を

感じていた。本ワクチンは接種後に死亡者が出るなど重篤な副反応を生じるものであると認識をしているが、コロナワクチンに対する市の認識について問う。



答 国は、ワクチン接種後の副反応による健康被害をなくすることはできないことから、予防接種法に基づき予防接種後の健康被害救済制度を設けている。本市では、この救済制度に加え、コロナワクチンにより健康被害を生じた市民に寄り添うため、独自の制度を創設し、見舞金を給付している。

経 済

ICHICOポイント

**整骨院や鍼灸院で利用できるか 加盟店として登録されれば利用可能**

沢田あきひと議員(市川維新の会)

健康を保つ動作の基本である歩行をするには関節疾患の予防が重要であることから、整骨院及び鍼灸院を

気軽に利用できる環境づくりをすべきと考える。そこで、これらの治療院の治療費にICHICOポイントを利用可能にすることについて、市の見解を問う。



答 今回のICHICOの実証実験では、様々な業種及び業態の店舗が加盟店となっている。整骨院や鍼灸院も加盟店として登録されれば、ICHICOポイントを利用できる。治療院の利用は市民の健康増進につながることを期待できるため、加盟店として参加してもらいたいと考えている。

環 境

カワウのふん被害

**今後の市の対応は引き続き県に環境改善を要望する**

加藤圭一議員(自由民主の会)

行徳鳥獣保護区周辺ではカワウのふんの臭いがひどく、今後、高温多湿になると悪臭の度合いも増すこと

が予想されるが、現状及び今後の市の対応を問う。

答 悪臭の原因は県が管理する同保護区の緑地に生息するカワウのふんによるものであり、令和4年度の県



の調査によるとその生息数は元年度の約3倍であった。県に対してはカワウの個体数の適正管理などを要望しており、県はこれを受け、生息範囲の拡大を防ぐための定期的な追い払い、一部地域での巢の撤去などを行っている。本市としては引き続き県と情報共有しながら環境改善を要望していく。

ペット・動物

猫の保護活動

**ランニングコストに対する助成は新設・拡大できるように検討している**

とくたけ純平議員(日本共産党)

飼い主のいない猫の保護活動をしているボランティアは、自費で活動を行って

いるため、毎日のフード代

答 現在、本市には不妊等



などが大きな負担となっている。同活動におけるランニングコストに対する助成制度を新設すべきだと思うが、本市の考えを問う。

答 既存の制度も譲渡が成立した場合の譲渡費の増額や、ワクチン接種費のほか、病気の怪我に対しての入院や検査に伴う医療費全般に拡大できるように検討している。

選 挙

投票率の向上

**年齢別投票率の公表の考えは可能な限り公表に努める**

石原たかゆき議員(創生市川)

令和5年4月の市議会議員選挙など、3回の選挙における10代の投票率は、初めて投票する18歳では高く、

19歳では極端に低い傾向がある。市公式ウェブサイト上では18歳と19歳の年齢別投票率は公表されていないが、投票率向上のため公表する考えはあるか。また、



投票所別のデータなど、選挙に関する様々なデータを分析し、投票率向上につなげていくべきではないか。

答 本市が公表しているデータは国の統計データの形式に合せているが、可能な限り詳細な公表に努める。また、地域や年齢などの特徴をデータ分析し、投票率向上のために活用していく。

投票所

**高齢者が多い地域では増やすべき 可能かどうか慎重に検討していく**

石原みさ子議員(清風いちかわ)

投票する意思があるにもかかわらず、足腰の衰えから投票所へ行くことを諦め、または、非常に苦勞して行

く高齢者がいる。高齢者が多く住む地域においては、投票所までの移動距離が短くて済むよう、投票所の数を増やすことはできないか。

答 現在の本市における投



票所の配置については、国が定める基準に適合している。一方、足腰の衰えを感じている高齢者が、自宅から遠い投票所へ行くのに苦勞するとの声も聞く。今後は、投票所として使用していない公共施設などを点検し、投票所の配置や投票区の設定が可能かどうかについて、慎重に検討していく。

東京外郭環状道路に関連する特別委員会の設置



6月定例会では、「東京外郭環状道路に関連する特別委員会」を設置し、委員と委員長・副委員長を選出しました。

東京外郭環状道路千葉県区間は、平成30年6月2日に高速部が開通し、並走する国道298号と合わせて、市内の南北交通の利便性向上や渋滞の緩和等の効果が現れています。一方、歩道、側道、植樹帯等の整備や周辺道路の改善といった残された課題もあります。

市議会は6月定例会で、こうした課題について引き続き調査検討を行うため、「東京外郭環状道路に関連する特別委員会」を設置しました。

東京外郭環状道路に関連する特別委員会(定数11)

|     |         |        |         |
|-----|---------|--------|---------|
| 委員長 | 竹内 清海   | 副委員長   | にしむた 勲  |
| 委員  | 野口じゅん   | 小山田なおと | ほとだ ゆうな |
|     | とくたけ 純平 | 西村 敦   | 石原たかゆき  |
|     | 堀内しんご   | 細田 伸一  | 加藤 武央   |

アメリカ・カリフォルニア州

ガーデナ市

姉妹都市締結

60周年記念

議員1名を派遣

令和5年7月2日から6日までの5日間、田中甲市長を団長とする市川市公式代表団が、アメリカ・カリフォルニア州にあるガーデナ市を訪問しました。議会からは、代表団の一員として、稲葉健二議長を派遣しました。

本市とガーデナ市は、昭和37(1962)年11月6日に姉妹都市を締結し、以来、青少年交流、教育交流、スポーツ交流、文化交流などを中心に交流を重ねてきました。

今回の訪問では、60周年記念式典に参加したほか、本市における施策推進の参考とするため、環境に配慮した電気バスの整備工場やガーデナ市が運営している警察署などの現地視察を行いました。





6 月 定 例 会   議 案 等 の 審 議 結 果 一 覧

|           | 件 名                                 | 各 会 派 の 賛 否 |         |           |           |             |               |             |             |           |       |             |         | 審 議 結 果 |
|-----------|-------------------------------------|-------------|---------|-----------|-----------|-------------|---------------|-------------|-------------|-----------|-------|-------------|---------|---------|
|           |                                     | 公 明 党       | 創 生 市 川 | 日 本 共 産 党 | 市 民 ク ラ ブ | 清 風 い ち か わ | チ ー ム い ち か わ | 自 由 民 主 の 会 | 市 川 維 新 の 会 | 無 所 属 の 会 | 参 政 党 | れ い わ 新 選 組 | 市 民 の 力 |         |
| ○市長提出     |                                     |             |         |           |           |             |               |             |             |           |       |             |         |         |
| 議 案 第 3 号 | 市川市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について         | ○           | ○       | ○         | ○         | ○           | ○             | ○           | ○           | ○         | ○     | ○           | ○       | 可 決     |
| 4号        | 市川市税条例の一部改正について                     | ○           | ○       | ○         | ○         | ○           | ○             | ○           | ○           | ○         | ○     | ○           | ○       | 可 決     |
| 5号        | 市川市火災予防条例の一部改正について                  | ○           | ○       | ○         | ○         | ○           | ○             | ○           | ○           | ○         | ○     | ○           | ○       | 可 決     |
| 6号        | 令和5年度市川市一般会計補正予算（第2号）               | ○           | ○       | ○         | ○         | ○           | ○             | ○           | ○           | ○         | ○     | ○           | ○       | 可 決     |
| 7号        | （仮）市川市八幡市民複合施設新築工事請負契約について          | ○           | ○       | ○         | ○         | ○           | ○             | ○           | ○           | ○         | ○     | ○           | ○       | 可 決     |
| 8号        | 損害賠償請求事件の和解について                     | ○           | ○       | ○         | ○         | ○           | ○             | ○           | ○           | ○         | ○     | ○           | ○       | 可 決     |
| 9号        | 損害賠償請求事件の和解について                     | ○           | ○       | ○         | ○         | ○           | ○             | ○           | ○           | ○         | ○     | ○           | ○       | 可 決     |
| 10号       | 市道路線の廃止について                         | ○           | ○       | ○         | ○         | ○           | ○             | ○           | ○           | ○         | ○     | ○           | ○       | 可 決     |
| 11号       | 市道路線の認定について                         | ○           | ○       | ○         | ○         | ○           | ○             | ○           | ○           | ○         | ○     | ○           | ○       | 可 決     |
| 12号       | 市道路線の変更について                         | ○           | ○       | ○         | ○         | ○           | ○             | ○           | ○           | ○         | ○     | ○           | ○       | 可 決     |
| 13号       | 農業委員会委員の任命について（朝倉一江氏）               | ○           | ○       | ○         | ○         | ○           | ○             | ○           | ○           | ○         | ○     | ○           | 一       | 同 意     |
| 14号       | 農業委員会委員の任命について（石井宏氏）                | ○           | ○       | ○         | ○         | ○           | ○             | ○           | ○           | ○         | ○     | ○           | 一       | 同 意     |
| 15号       | 農業委員会委員の任命について（石橋弘嗣氏）               | ○           | ○       | ○         | ○         | △           | ○             | ○           | ○           | ○         | ○     | ○           | 一       | 同 意     |
| 16号       | 農業委員会委員の任命について（板橋利行氏）               | ○           | ○       | ○         | ○         | ○           | ○             | ○           | ○           | ○         | ○     | ○           | 一       | 同 意     |
| 17号       | 農業委員会委員の任命について（太田裕士氏）               | ○           | ○       | ○         | ○         | ○           | ○             | ○           | ○           | ○         | ○     | ○           | 一       | 同 意     |
| 18号       | 農業委員会委員の任命について（岡崎博一氏）               | ○           | ○       | ○         | ○         | ○           | ○             | ○           | ○           | ○         | ○     | ○           | 一       | 同 意     |
| 19号       | 農業委員会委員の任命について（小川治夫氏）               | ○           | ○       | ○         | ○         | ○           | ○             | ○           | ○           | ○         | ○     | ○           | 一       | 同 意     |
| 20号       | 農業委員会委員の任命について（小沢伊知郎氏）              | ○           | ○       | ○         | ○         | ○           | ○             | ○           | ○           | ○         | ○     | ○           | 一       | 同 意     |
| 21号       | 農業委員会委員の任命について（神澤晶子氏）               | ○           | ○       | ○         | ○         | ○           | ○             | ○           | ○           | ○         | ○     | ○           | 一       | 同 意     |
| 22号       | 農業委員会委員の任命について（山野孝一氏）               | ○           | ○       | ○         | ○         | ○           | ○             | ○           | ○           | ○         | ○     | ○           | 一       | 同 意     |
| 23号       | 固定資産評価審査委員会委員の選任について（松井光男氏）         | ○           | ○       | ○         | ○         | ○           | ○             | ○           | ○           | ○         | ○     | ○           | 一       | 同 意     |
| 24号       | 副市長の選任について（本間和義氏）                   | ○           | ○       | ○         | ○         | ○           | ○             | ○           | ○           | ○         | ○     | ○           | ○       | 同 意     |
| 諮 問 第 1 号 | 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて（鵜澤支津子氏） | ○           | ○       | ○         | ○         | ○           | ○             | ○           | ○           | ○         | ○     | ○           | 一       | 可 答 申   |
| 2号        | 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて（兎原寿美子氏） | ○           | ○       | ○         | ○         | ○           | ○             | ○           | ○           | ○         | ○     | ○           | 一       | 可 答 申   |
| ○議員提出     |                                     |             |         |           |           |             |               |             |             |           |       |             |         |         |
| 発 議 第 1 号 | 市川市議会会議規則の一部改正について                  | ○           | ○       | ○         | ○         | ○           | ○             | ○           | ○           | ○         | ○     | ○           | ○       | 可 決     |
| 2号        | 特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める意見書の提出について | ○           | ○       | ○         | ○         | ○           | ○             | ○           | ○           | ○         | ○     | ○           | ○       | 可 決     |
| ○その他      |                                     |             |         |           |           |             |               |             |             |           |       |             |         |         |
|           | 議員の派遣について                           | 全 会 承 認     |         |           |           |             |               |             |             |           |       |             |         |         |

※出席した会派の議員全員が、賛成：○、欠席：一、出席した会派の議員の一部が賛成・一部が反対：△  
※可答申：異議ない旨答申  
※各会派の賛否については、電子採決システムを利用して採決を行ったもののみ掲載しています。  
※議案の全文及び議員別の賛否は市川市議会のホームページに掲載しています。

人事議案

6月定例会には、市長から、農業委員会委員の任命、固定資産評価審査委員会委員の選任及び副市長の選任についての議案計12件が提出され、議会はこれら12件をいずれも同意しました。

農業委員会委員  
朝倉 一江 石井 宏  
石橋 弘嗣 板橋 利行  
太田 裕士 岡崎 博一  
小川 治夫 小沢伊知郎  
神澤 晶子 山野 孝一  
松井 光男  
副市長 本間 和義  
委員 固定資産評価審査委員会

意見書

6月定例会には、意見書案1件が提出され、議会はこれを可決しました。  
可決した意見書は、6月26日に関係行政庁へ送付しました。

特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める意見書（要旨）

特別支援教育を受ける児童生徒は年々増加しており、教育現場では新たな特別支援教育体制の整備が必要になっている。このような状況に適切に対処するためには、特別支援学校・学級への専門的な知識や経験を持った教員等の増員が必要不可欠である。

よって、本市議会は政府に対し、医療的ケアを含めた特別支援教育が必要な子どもの増加や、様々な障がいのある児童生徒に的確に対応した教育を実現するために、特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置に向けて、以下の事項について財政措置を含めた特段の措置を講じることを求める。

1. 特別支援教育支援員の適切な配置
2. 特別支援教育コーディネーターの適切な配置
3. 看護師等の専門家の適切な配置
4. 特別支援学校のセンター的機能の強化
5. 特別支援教育デジタル支援員(仮称)の配置
6. 特別支援学校教諭免許状の取得支援

○令和5年定例会開会予定日○

|        |          |
|--------|----------|
| 9月定例会  | 9月1日(金)  |
| 12月定例会 | 12月1日(金) |

※上記は予定であり、事情により変更される場合があります。

|                |         |            |        |        |         |          |        |          |         |        |       |       |        |
|----------------|---------|------------|--------|--------|---------|----------|--------|----------|---------|--------|-------|-------|--------|
| 会派別議員名簿（定数42人） |         |            |        |        |         |          |        |          |         |        |       |       |        |
| 石原よしのり         | 市民の力    | 門田直人       | れいわ新選組 | 太田丈之   | 参政党     | 増越田川好雅秀史 | ○無所属の会 | つかこしたかのり | ○堀田あきひと | 市川維新の会 | 細田伸幸  | ○加藤圭一 | 自由民主の会 |
| 丸金じゅきこ         | ○富野家    | チー・ムい・ち・かわ | 松永鉄兵   | 青山ひろかず | ○石崎ひでゆき | 中ちやむけ    | 市民クラブ  | 廣田徳子     | やなぎ美智子  | ○清なみ   | 日本共産党 | 岩井清武  | 加藤健二   |
| 石久保たけふ         | ○石久保たけふ | 大久保たけふ     | ○小松たけふ | ほとひる   | ○小泉ひる   | 創生市川     | 大宮均    | 中村隆志     | 久保隆志    | 浅川さち   | ○西山なつ | 公明党   | 石井敦    |

※○は会派代表者。      ※市議会では会派制をとり議会活動を行っています。なお、所属議員3人以上の会派を、議会運営委員の選出などができる交渉会派としています。（この会派別議員名簿は令和5年7月28日現在のものです。）

●議員からの寄附やあいさつ状（答礼のための自筆によるものを除く）は公職選挙法で禁止されています●